

青刈りとうもろこし多給による飼料費削減

(千葉県 (株)高木牧場)

経営

- ◆ 経産牛46頭、育成牛17頭飼養
- ◆ 家族労働 3 名に加え、通年でベトナムの獣医学部卒業生を仲介業を通さず雇用。
- ◆ 青刈りとうもろこしの活用と和牛 2 卵移植により、利益率を上げていく経営を目指している。

<令和 5 年作付け状況>

品 目	面 積
青刈りとうもろこし (1 期作目)	16ha
青刈りとうもろこし (2 期作目)	10ha



飼養管理

- ◆ 経産牛に最大40kg/日の青刈りとうもろこしを給与。平均給与量は、35kg/日。育成牛・乾乳牛には経産牛の半分の量を給与。
- ◆ 子実部位の比率が高い青刈りとうもろこしを多給することにより、濃厚飼料の利用量を10 t / 月程度削減。また、濃厚飼料の給与量減少による乳脂率低下も防いでいる。

課題への対応など

- ◆ 青刈りとうもろこしの 2 期作を実施。膝の高さで刈り取り、子実部位の比重を高め、収穫。
- ◆ 1 産目は後継牛確保のため、性判別受精卵を14ヶ月齢で種付け。体高130cmが目安。
- ◆ 2 産目以降は、ホルスタインに和牛の 2 卵移植を実施。
- ◆ 自場では青刈りとうもろこし 3 ha分の堆肥しか賄えないため、不足分は市外のお他牧場から調達。

【令和 5 年10月31日現在】